

行政視察報告書

令和7年 11月 14日

長浜市議会議長 伊藤 喜久雄 様

長浜市議会議員 杉 本 英 一

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

- 視察等名 令和7年度産業建設常任委員会行政視察研修
- 視察期間 令和7年10月29日（水）～30日（木）
- 視察場所及び目的
 - 静岡県掛川市
「民泊の推進について」
 - 愛知県安城市
「アグリライフ支援センターをはじめとした農業振興施策について」
 - 安城市中心市街地拠点施設「アンフォーレ」見学

4. 調査内容感想等

・視察の目的

「民泊の推進について」

空き家を民泊に利用する際に、所有者や地域住民からの理解や協力を得るためにどのような工夫をされているのか。また民泊運営者への支援制度はどのようにされているのか。さらには民泊によって地域経済や観光振興にどのような効果が得られているのかといったところをお聞きするため。

・「アグリライフ支援センター」をはじめとした農業振興施策について」

安城市においては、市民の方々が「農」を楽しみ「農」ある暮らしを目指す拠点として、各種体験講座を実施されていますが、具体的にどのような事をされているのかをお聞きするため。

・安城市中心市街地拠点施設「アンフォーレ」見学。

・視察の内容

NPO 法人かけがわランド・バンク(かけがわLB)が運営する「JOKA BASE」では、所有者に対しては負担0で民泊施設に改装できることを強調するとともに、改装費などを掛川LBが全て負担する代わりに、家賃の面で少し譲歩してもらっています。また、地域住民に対しては、開業前にかけがわLBが、あいさつ回りに伺っておられます。さらにランドバンクでは「民泊のすすめ」という開業マニュアルを作成し無料で配布しています。かけがわランドバンクが運営する民泊施設は

◀ 集団で宿泊することができるため、周辺のホテルと差別化が図られており、大都市圏の若者を中心とした利用者になっています。また現在、市で補助金を出して行っている空き家活用モデル事業による民泊施設は素泊まりのため、市街地で食事を行うことで地域経済の活性化を図っています。

・「アグリライフ支援センター」では、「一坪農園ひとつぼのうえん」事業を行っています。

これは学びの体験農園で、縦1メートル、横3メートル強に区分けした畑で、野菜を作ります。野菜づくり初心者でも楽しめる講座です。春夏野菜づくりと、秋冬野菜づくりをそれぞれ開催しています。約3平方メートルの畑でキャベツ・ニンジンなど5品目程度栽培し、親子・あるいは1人でも参加できます。楽しく野菜を作っておいしい野菜を食べましょうという事業です。講座は全6回で、

収穫期とは別で、自主的に週１～２回収穫に参加できる方となっています。

- ・安城市中心市街地拠点施設「アンフォーレ」は、JR 安城駅から徒歩５分の所にある、図書館情報館やホール、駐車場や、商業施設からなる中心市街地拠点施設です。学び・健やか・交わりの場として、地域文化の創出と交流を産み出すとともに、中心市街地の活性化を目指している施設です。ここは病院跡地を利用しており、図書館情報館やホールが入っている本館及び広場・公園は公共施設、駐車場及び商業施設は民間経営となっているため、官と民の複合施設となっています。「ホール」「願いごと広場」「多目的室」「エントランス」といった貸スペースがあり、イベント・講座・セミナー・情報発信・交流など、様々な用途で利用されています。

・感想

掛川市の民泊施策は、大変積極的であり、当該長浜市は、学ぶべきところばかりです。なぜこれほどまで差異があるのか。行政の怠慢さを感じさせられました。また安城市の農業・野菜づくりにしても、市民と一体になって、振興していくことの大事さを痛感しました。